

## インドネシア西スマトラ州における稲作の実態と問題点及びその改善に向けた対応について

藤田 究・村上優浩・三木 洋・詫間裕一

香川県農業試験場研究報告 第 68 号 (2018 年 3 月) 19-33

2012～2014 年の各年 3～4 日間、インドネシア西スマトラ州の農業関係機関及び現地を訪問し、稲作技術向上に向けた支援を行った。また 2014, 2015 年の 2 か年は西スマトラ州の技術指導者及び農業者を香川県に受け入れて技術研修を行った。

西スマトラ州現地での調査及び関係者との意見交換の結果、水稻の栽培面では種子伝染性病害の発生、栽植方法や水管理等が不適切なことが、スクミリンゴガイやネズミによる被害の発生、また種子生産では異形株の混入等が問題としてあげられたので、それらの対応策について提案を行った。一方、現地ほ場では条間を空ける栽植法、乳苗 1 本植え栽培、再生稲栽培等の先導的な技術に対する取組みを見ることができた。

西スマトラ州の関係機関からは、年間の収穫回数増加による生産量の向上、単収の向上、生産力の安定化、品質の確保、食味向上等の要望があげられ、これらに対して香川県での取り組みを紹介するとともに、香川県において農業試験場及び現地で実習等の研修を行い、対応策を示した。さらに今後の西スマトラ州の稲作発展に向けた総括的な提案を行った。

キーワード：インドネシア，香川県，草の根技術協力事業，西スマトラ州，栽培，種子生産，水稻